



2023年4月14日

各位

会社名 株式会社北の達人コーポレーション  
代表者名 代表取締役社長 木下 勝寿  
コード番号: 2930 東証プライム 札証  
問合わせ先 取締役管理部長 工藤 貴史  
電話番号 050-2018-6578 (部署直通)

## 業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年1月13日に公表いたしました2023年2月期の通期連結業績予想及び通期個別業績予想と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年2月期通期業績予想値と実績値との差異 (2022年3月1日～2023年2月28日) (連結)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,825	百万円 773	百万円 795	百万円 514	円 銭 3.70
実績値 (B)	9,831	510	541	343	2.47
増減額 (B-A)	6	△263	△254	△170	
増減率 (%)	0.1	△34.0	△32.0	△33.2	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	9,510	2,082	2,102	1,342	9.66

#### (個別)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,735	百万円 796	百万円 846	百万円 574	円 銭 4.13
実績値 (B)	8,725	520	581	399	2.87
増減額 (B-A)	△9	△275	△264	△175	
増減率 (%)	△0.1	△34.6	△31.2	△30.5	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	8,739	2,086	2,127	1,388	9.99

2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、連結及び個別における前期実績については当該基準適用前の実績値を記載しております。

#### 2. 差異の理由

2023年2月期において、「受注過多による発送遅延」が生じたこと、さらには戦略的かつ計画的に「広告投資の拡大」を行ったことにより、売上高はほぼ予想どおり推移した一方、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益(当期純利益)につきましては、予想を下回りました。

##### (受注過多による発送遅延)

一部商品において、販促活動が好調だったことで注文が殺到いたしました。製造が追いつかず受注済みであるものの発送までに数箇月待ちとなったことで、当該受注に要した広告宣伝費が2023年2月期に先行して計上されておりますが、それに応じて本来であれば計上されていた売上高や各利益は2024年2月期に計上されます。なお、当該発送遅延は2024年2月期中には解消する見込みです。

(広告投資の拡大)

2023年1月度の月間新規顧客獲得人数が当社創業以来の過去最高値を更新する等、新規顧客の獲得が非常に好調だったため、計画を大幅に上回る広告投資を行いました。定期購入型のビジネスモデルにおいては、広告投資と採算が合うまでには一定のタイムラグが生じるため、広告投資を行った直後の利益はマイナスとなり、投資の拡大と比例してマイナス額は大きくなります。

しかし、当社では必要利益を確保することを目的に、新規顧客獲得1人あたりに使用可能な広告宣伝費の上限額として上限CPOを設定しております。2023年2月期においては、上限CPO内での新規顧客獲得が好調であったため広告投資を拡大しており、将来獲得できる利益の増加が見込まれるため、当社はこのような状況をポジティブに捉えております。

なお、配当予想に修正はございません。

以上